



Let's市民力!

～子育て・介護を
ひとりぼっちにしないまちに～

〒811-3431 宗像市田熊 2-1-1
Tel・Fax 0940-37-0700
Email munakata@fnet.gr.jp
HP <http://www.fnet.gr.jp/munakata>
■事務局長：田中るみ子 ■代理人：笠井香奈枝

やっぱり
生活って
政治!



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

家族の介護や身の回りの世話を担う 18 才未満の子どもたち

ヤングケアラーを知っていますか?



ヤングケアラーとは

病気や障がいのある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話を日常的に行っている18歳未満の子どものことです。家族の中に、サポートや介護、見守りが必要とする人がいて、それを支える大人がいない時には、子どもであってもその役割を引き受けて、家族の世話をしている状況になるのです。

そのために、学校に行けなかったり、学習が遅れが出たり、進学や就職を諦めたりするケースもあり、実態の把握と支援が急がれています。

クラスに一人いるかもしれない

福岡県が昨年度初めて実態調査を行いました。県内24市町村（県内の4割）の集計結果から、小中学生など132人いることがわかりました。行政や学校、地域の関係者が認識不足だという指摘もあります。国の中高生対象の全国調査では、中学生のおよそ17人に1人、高校生のおよそ24人に1人が「世話をする家族がいる」と回答しています。

ヤングケアラーへの理解と支援を

周りの人がヤングケアラーに気づき、子どもらしい生活と学習を保障し、将来の夢に向かって進めるように、周囲の理解と支援が必要です。家族だけの問題ではなく、社会で支えるように取り組む課題ではないでしょうか。

ヤングケアラーの支援についての一般質問をしました。
(詳細は裏面へ)

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga (一部抜粋)

設立 30 周年を迎えました!



ふくおか市民政治ネットワーク・宗像は 2020 年に設立 30 周年を迎えました。コロナ禍のため延期していた30周年記念行事を7月に開催しました。

1991年に宗像市で初めての女性議員を議会に送り出し、これまでに6人の議員が誕生し、市民の皆さんと活動を続けてきました。

この30年間、生活者の視点で、学校給食の自校化、子ども基本条例の制定、防災マップの全戸配布など、多くの課題を議会を通して解決してきました。

ふくおか市民政治ネットワーク・宗像は「いのち」「平和」を政策の中心にし、全ての人が尊重される社会を目指してこれからも活動していきます。

現在、新型コロナワクチンの接種が始まっています。ワクチンを接種するかしないかの判断は、個人の意思が尊重されるものであり、その選択により差別や分断がされないこと、子どもたちへの接種はもっと慎重であるべきと考えます。
詳しくはホームページへ



HP QRコード

議会報告会 と まちづくりトーク

さあ、宗像市で気になることを話そう! こんな宗像市だったらいいな、あんなことがあったらいいななど、わいわい話しましょう!

8月23日(月) 10:30~12:00
市民ネット事務所

*申し込みは不要です。お待ちしております。

市民ネット事務所 (いせきんぐ隣)
宗像市田熊 2-1-1

Tel・Fax: 0940-37-0700

メール: munakata@fnet.gr.jp



メール用 QRコード

サポーター会員募集!(年会費 1500 円)

サポーター会員の方には、議会のお知らせや学習会等のご案内を差し上げます。会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。

郵便振替口座 記号 01730-2 番号 59371 ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

☆このニュースはボランティアの手で配られています☆ ニュース配布ボランティア募集中です!!